はじめに

『高３日本史＜論述編＞』にようこそ。

この授業は，国公立・私立を問わず，**短文記述～長文論述が出題される大学を受験する生徒さん向けのものです。**

皆さんに勘違いしてほしくないのですが，決して，この授業だけで対策が完了するわけではありません（何せ，わずか60分～70分×７回ですから）。

ただ，記述・論述問題を**“鳥の目”**で大きく見て，**「効率の良い学習法を伝授する」**ことはできます。あとは，ご自分で“人の目”になり，演習を重ねていただければと思います。

①受講の仕方

テキストに載っている問題を**必ず**解いてきてください。授業は問題の解説ですので，意味がなくなってしまいます。

②板書について

基礎〔ベーシック〕を黄，応用〔スタンダード〕を白，発展〔ハイレベル〕を赤で書いています。

※模範解答を添削する時は，青チョークを使いチェックしていきます。

※他の日本史講義に比べると，どうしても板書の量は多くなりますのでご注意を。

③復習について

一例として「テキスト・板書をざっと見直す⇒確認テストを解く⇒過去問や論述問題集を解く」という流れがあります。用語集などは，調べものに使用してください。ただ，結果的に出来るようになれば何でも結構です。

※覚えていないのに問題を解くのですか？　とよく聞かれます。すでに覚えているなら解く必要はないですよね。覚えてから解くのではなく，解いて，間違えて覚えるのです。

④推薦図書

１　**教科書**（各社）

２　**過去問**

赤本（教学社）・黒本（河合出版）・青本（駿台文庫）など

※**問題集**は，書店や通販で「売れているもの」は，ほぼ外れがないと考えてください。

この講義は，通史の復習にもなりますが，あくまでも「記述・論述対策」のためのものです。皆さんに「少なくとも教科書レベルの知識はある」前提で進んでいきますので，難易度は高めです。「これは解ってますね」「当然ですね」という発言も，わざと多くしています。

あとは講義で。

伊藤賀一

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

記述・論述問題について

1　おもな出題校

あくまでもテキスト作成時点での情報なので，**必ず最新の情報を確認してください**。また，字数が変更となる大学も多数ありますので注意してください。
※出題担当者や大学・学部の方針が変更になると，いとも簡単に変更されます。

国立

東京大学　（60・90・120・150・180字程度）
京都大学　（200字）
一橋大学　（400字）
東京外国語大学（100・400字）
大阪大学　（200字程度）
九州大学　（50・60・80字）
名古屋大学　（30～140字程度）
北海道大学　（30・40・50・60・80・100字）
筑波大学　（400字）
東京学芸大学　（50～100字程度・120～200字程度）
千葉大学　（100～150字程度）
新潟大学　（20・30・40・50・400字）
福井大学　（40～100字程度）
信州大学　（400・600字）
和歌山大学　（40字程度）

公立

首都大学東京　（40・50・60・70・80・100・120字）
京都府立大学　（20～50字程度・70字）
愛知教育大学　（40・50・60・70・400字）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

私立

慶應義塾大学（経済，40 ～ 100 字程度）
慶應義塾大学（文，80・100 字）
慶應義塾大学（商，20・25 字）
早稲田大学　（政経，100・120 字）
早稲田大学　（商，30 字）
上智大学　　（外国語・法・文・経済─経営・総合グローバルなど，30・40・150 字）
津田塾大学　（学芸，50 ～ 100 字程度，250・300 字）
中央大学　　（法─法・国際企業関係法，30・100 字）
明治大学　　（法，15 字程度）
法政大学　　（文・経営・人間環境・法─国際政治など，80 字）
学習院大学　（文，200 字）
成城大学　　（経済，120 字）
聖心女子大学（文，20 ～ 180 字程度）
南山大学　　（外国語・人文・総合政策，50 字程度）
名城大学　　（法・都市情報・人間，30 字）

※上記の他にも出題されている大学・学部はあります。また，ある年だけ出題されなかったり，復活したり，変動は激しいです。一貫性がない場合も多いです。

２　記述・論述とは？

この講義では，100 字以内を「記述」，100 字以上を「論述」と呼びます。単語の記述問題はふつう「語句記述」と呼び，区別します。

内容・経過・結果・意義・比較・背景・理由などを，指定の濃さの鉛筆・シャープペンシルで，答案用紙に書いていきます。

最も大事なポイントは**「出題者に聞かれたことだけ答える」**および**「出題者の設定した解答ルールを守る」**の２点です。

また，誤字・脱字は減点の対象になります。

※多少値は張っても，書きやすい筆記具とよく消える消しゴムを使用してください。たまに解答用紙が破れてしまう人もいるので。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

３　解答の作法

まず，ルールを守ってください。下線や枠からはみ出たり，１マス目を原稿用紙のように空けたり，改行したりすることのないように（採点者が字数を確認するためにマス目は存在します）。もちろん，句読点を１字とするのかどうかも従ってください。字数オーバーなどはもってのほかです。

また，当たり前のことですが，解答は30字以内の短文なら指定字数の８割，それ以上なら**９割以上書く**ことを心掛けてください。正答が７割や６割でいいのなら，出題者は指定字数を最初から減らすはずですから。

※半分以下しか書けなかった場合，０点になることもあります（模試の採点ではよくある話です）。部分点を獲得するためには無理してでも半分以上は書きましょう。

書き終わったら，必ず一度チェックしてください。「聞かれたことだけ答えているか」「解答ルールを守っているか」「誤字・脱字はないか」などです。

※時間ギリギリにならないため，余裕を持って書き上げられるよう，日頃のトレーニングが重要です。

４　解答例について

どの講義，どの問題集，どの過去問でも，解答例はあくまでも「例」にすぎません。記述，論述問題には「正答」が存在しません。そういうものです。

そのつもりで，あらゆる問題にあたってください。

少しは気楽になりましたか？　さあ，頑張りましょう！

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

もくじ

論述日本史

第１講	記述問題（〜50字）	p６
第２講	記述問題（〜80字）	p10
第３講	論述問題（〜120字）	p14
第４講	論述問題（〜300字）	p18
第５講	論述問題（400字）	p22
第６講	京大の論述	p26
第７講	東大の論述	p30

予習として各講の問題を必ず解いてください！　ノート・ルーズリーフ等を使用し，テキストは板書を写すため，右側のページは空けておくようにしてください。

※収録されている問題は，過去問および過去問の一部改題です。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第１講　記述問題（～50字）

海国兵談

『海国兵談』を提出した結果，林子平はどのように扱われたか。理由と結果を20字以内で記せ。

五大改革指令

ＧＨＱが戦後の労働政策を展開するにあたり，前提と考えていた戦前の事情とはいかなるものであったのかを30字以内で記せ。なお，句読点も１字として数えよ。

磐井の乱

５世紀から６世紀に九州で起こった抵抗について，ヤマト政権側・九州の豪族側の双方の，朝鮮半島の勢力との関係にもふれて，40字以内で説明しなさい。

鎌倉時代の社会経済

（一遍上人絵伝の一部を見て）東海道の富士川に設置された舟橋（船を並べてつないだ橋）が主題となっている。舟橋は，ある目的のためにその都度かけられるものであり，注目すべき光景だったのであろう。なぜこの舟橋は設けられたのであろうか。当時の政治・軍事状況を勘案しつつ，40字以内で答えなさい。

奉公衆

奉公衆を主語として，具体的に50字程度（句読点も１字に数える）で説明しなさい。

憲政の常道

日本国憲法では，条文において議院内閣制が規定された。それと比べた場合，大日本帝国憲法下における「憲政の常道」はどのような特徴を有していたか。50字以内で説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈***Note***〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第１講　確認テスト

1　林子平を処罰した当時の老中首座と，その人物が行った改革の名称を答えよ。

2　『海国兵談』以外の林子平の代表的著書を１冊あげよ。

3　戦前，すべての労働組合が解散し組織されていた団体名をあげよ。

4　戦後の民主化のなかで認められた「労働三権」をすべて書け。

5　527年，筑紫国造磐井と結んだ朝鮮半島の国とは？

6　磐井の乱の時のヤマト政権の大王を「～天皇」として書け。

7　中世に盛んとなった，遠隔地間で行われた決済方法を何というか？

8　室町幕府の直轄領を何というか？

9　非公式に天皇を補佐し，後継首相を指名した“最後の元老”とは誰か？

10　戦前の衆議院は，内閣不信任案を決議することができたか否かを◯×で答えよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈*Note*〉

解答

1　松平定信・寛政の改革　2　『三国通覧図説』　3　大日本産業報国会

4　団結権・団体交渉権・団体行動権〔争議権〕　5　新羅　6　継体天皇

7　為替〔替銭〕　8　御料所　9　西園寺公望　10　×

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

解答例

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

解答例

第１講　記述問題（〜50字）

海国兵談（和歌山12）

幕政批判・人心惑乱の罪で発禁・禁固刑。（19字）

五大改革指令（早稲田—商15）

労働者の低賃金が国内市場を狭め，軍国主義の基礎となった。（28字）

磐井の乱（首都大学東京—14）

527年，筑紫国造磐井が新羅と結び継体天皇による加耶への援軍派遣阻止をはかった。（40字）

鎌倉時代の社会経済（北海道15）

蒙古襲来に備え迅速で効率のよい軍事動員や物資輸送をはかることが目的だったため。（39字）

奉公衆（南山—人文・総政14）

奉公衆は足利将軍の直臣として幕府の警護や将軍の護衛に従事した他，全国に散在する御料所の管理も行った。（50字）

憲政の常道（九州15）

元老西園寺公望の推挙により衆議院の多数党党首が政党内閣を組閣する慣習で，規定としては存在しなかった。（50字）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。